

このコーナーでは、農業のちょっとしたコツを、市の営農指導員と地域おこし協力隊員からお知らせします。

営農指導員のワンポイントアドバイス

営農指導員 永興ながちか 啓はじめ

スターチスを直売所へ出荷してみませんか

1 経営上の特性

数多いスターチスの仲間の中で、直売所での販売に向くのはスターチス・シヌアータ（以下スターチスと記します）です。スターチスは花の色が豊富で、花もちが良く、ドライフラワーにも利用できることから、直売所でも人気が高い花です。

この花を庄原で栽培するには、春に種をまき、夏・秋に出荷する作型が適しています。また本来は多年草なので、好条件下であれば、据え置きで次の年も切り花が可能になります。



2 作型

- ▼播種（種まき）：3月上旬
- ▼定植：4月中旬～下旬
- ▼切り花：7月上旬～9月中旬

3 栽培の方法

①育苗 スターチスの根はまつすぐに伸び、移植を嫌うので、ポットなどに播種します。この作型では早春の気温が低い時期に播

※灰色かび病：植物の蕾・葉・茎などに淡褐色の病斑ができ、病斑が拡大するとそこが枯れ、灰色のカビに覆われる。

種するので、保温ができるハウス内での育苗になります。早春の育苗が困難な場合は、市販の苗を植え付けることも一つの方法でしょう。

播種用土は苗立ち枯れ病防止のために消毒したものが、市販の育苗用土を使用します。

②定植 定植の半月前には、10平方メートル当たりチツソ、リン酸カリ共、成分量で1000～1500グラム程度の基肥を入れ、ハウス内に畝を作っておきます。酸性土壌では生育が悪くなるので、石灰を忘れないように施用しておきます。

定植は30センチ間隔とし、生育初期には十分に水をやりますが、過湿には弱いので、水のやり過ぎにならないように注意が必要です。

③生育中の管理 生育の後半、つぼみが出てからは水をやる量を徐々に減らして、乾燥気味に管理します。また、このころから葉の数も多くなり、込み合ってきた葉を摘み取ります。

④病気 灰色かび病（※）の発生に注意が必要で、ハウス内の換気を良くし、湿度が上がらないようにしましょう。また、発病した葉や花茎は摘み取り、焼却しましょう。

問い合わせ

農業振興課農業振興係
0824・73・1132

地域で「生き生き」 獣害対策その一歩先へ!

地域おこし協力隊 草谷くさたに 夏枝なつえ

対策をしても効果がない!?

「電気柵をしているが全く効果がない」と言われることがあります。実際にその田んぼへ行ってみると、電線が高過ぎたり、電気が十分に流れていなかったりします。これでは対策をしたとはいえません。

また、電気柵に慣れたり、メッシュを曲げることを覚えたりしたイノシシがいる地域では、基本の対策をしても状況が改善されない場合があります。継続した補強や管理が必要です。



メッシュを曲げられ縦横に補強。稲刈り前、毎日点検メンテナンスされた模範柵です（市町Sさん）。

地域の取り組みがお手本に

10月4日、岡山県瀬戸内市の獣害対策の担当者3人が、本村野谷サロンプラミッドの取り組みの視察に訪れました。

訪れた3人は、行政の講習を受けながら仲間と「守れる畑」の活動を始めたこと、始めるとメンバー以外の周りの人が力を貸してくれていることなどの説明を受けました。

また、「集落の敷地に捨てていた野菜くずが実は動物を誘引する『餌』になっていたことを学んだ」という話を聞くと、「地域の人が獣害が起こる仕組みを理解し主体的に取り組んでいるのが分かった」と感心していました。

獣害対策のロビーパネル展開催

10月15日から19日まで、市役所本庁舎市民ホールで、獣害対策啓発のパネル展を開催しました。獣ごとの生態や対策、年間を通じて一人一人にできること、地域で取り組みを行っている事例の紹介をしました。イノシシはミミズが好き？夜行性だから電気柵は夜通電で大丈夫？思い込みで対策をしていては効果はありません。

問い合わせ

商工林業課林業振興係
0824・73・1124